

予算の主な使い道を

第4次総合計画後期基本計画（令和3年～令和7年）（における市の将来像）の5つの体系により、新規事業を中心に紹介します。

協働のまち

庁舎建設事業 41億9,646万1千円

住民サービス提供の場であり、防災拠点でもある庁舎の建設を行います。

市税等スマートフォン決済導入事業 1,267万2千円

スマートフォンの決済アプリを用いた公金収納サービスを導入することで、利用者の利便性向上、納税の促進、感染症対策を図ります。



新庁舎イメージ

産業・環境

郡山城跡公園整備事業 12億9,785万2千円

県立郡山高校城内学舎跡地を取得し、現城趾公園（西公園）と合わせて歴史公園として整備します。

元気城下町発・未来行チケット事業 2億7,064万2千円

1,000円の支払いごとに500円券が1枚使えるチケット6,000円分を市内各世帯に配布することで、生活の支援と地域経済の活性化を図ります。



郡山城跡公園整備イメージ

子育て・教育

（仮称）あすなら学童保育所整備事業 3,980万円

学童保育所を創設する社会福祉法人に対して、支援を行います。

学校園の子どもサポート事業 1,469万6千円

園児・児童・生徒の学習・生活両面での支援のため、サポーター等を配置します。

ICT支援員活用事業 1,972万6千円

GIGAスクール構想の実現に向け、ICTの活用を推進するため、ICT支援員を配置し、学校への支援体制を整えます。



ICT活用の様子